

H27-② 「都市公園の使用料設定等」に関する調査研究

調査項目 「都市公園の使用料設定等」に関する調査研究
調査年次 平成27年度（9次調査）
目的 本調査では、他の公共施設も含めて、公園使用料設定の考え方の現状を把握し、都市公園における使用料設定のあり方を検討するとともに、公園管理者以外による公園施設の設置管理許可を促すために効果的なインセンティブのあり方を検討した。 また、広告収入やネーミングライツによる収益事業の可能性とその課題についても併せて探った。 さらに、こうした収益策の展開の検討とともに、確保した収益を公園の整備や管理に直接還元する方法についても検討した。
概要 以下の内容について調査を行った。 ①都市公園使用料の設定 ②都市公園における広告事業等の可能性 ③収益を直接還元する方策の検討
結果 料金設定は各都市の条例等で示されているとおりであるが、物価の変動や社会情勢、消費税の変動に伴い、変更していく必要性を感じている都市も多くみられた。 都市公園での広告事業の展開に向けては、景観が重視される空間である公園において展開すべきではないという意見がある一方で、主に財源確保の観点から積極的に検討したいという都市も多くみられる。
課題 今後は、利用者のニーズや手法、設置施設、内容について慎重に検討していく必要がある。また、利用者への説明責任を果たすために、得られた収入を該当公園、市内公園緑地全体に還元することが期待される。
調査結果の反映等
キーワード 使用料料金、利用料金制度、屋外広告物、ネーミングライツ
事例公園等 ・ 設置管理許可における民間の施設設置事例（大阪市天王寺公園募集要項） ・ 京都市建設局所管の都市公園における自動販売機設置事業者募集要項 ・ 屋外広告掲出の工夫事例（ガラス面を活用した広告物の扱い）京都市「特定屋内広告物」 ・ 川崎市「使用料・手数料の設定基準」